

重点施策 11 活力あふれる公民館活動の推進

【施策方針】

生涯学習社会の期待に応えるため、時代や地域住民のニーズに応じた必要課題についての学習機会を提供し、生涯学習に関する情報収集と発信に努める。

生涯学習に関する関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域活動の核となり、コーディネーターの機能を発揮するとともに住民が気軽に立ち寄れる身近な交流の場、学習の場を提供し、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実
- ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実
- ③ 公民館施設の修繕・備品の充実

(2) 施策・事業の実施状況

① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実

中央公民館（保内別館を含む）も出席した地区公民館主事部会を毎月1回、館長主事合同会を年3回開催し、公民館活動の発展に寄与することを目的に公民館相互の連絡調整・情報交換を行った。

公民館職員としての資質の向上を図るため先進的公民館を訪問し研修を行ったり、各種大会に参加したり、毎年1月には公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしている。

② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実

中央公民館（保内別館を含む）において、生涯学習教室（絵画、パッチワーク、陶芸、健康体操、ヨガ、硬式テニス、さんきら自然講座、パン・お菓子、八幡浜タウンツーリズムパートⅡ、アロマセラピー、茶道、ヘルシークッキング、習字、パソコンに加え新たにデジカメ写真を開講）を開催したところ328名の受講者があった。

また、各種団体・サークル活動による中央公民館（保内別館を含む）の利用者は年間52,482名あり、地域住民の身近な交流の場、生涯学習活動の場として有効利用が図られた。

③ 公民館施設の修繕・備品の充実

各地区公民館・自治公民館の現状、緊急性、必要性等を考慮し、限られた予算の中で施設の整備充実を図っている。

保内交流拠点施設（川之石地区公民館併設）の建築整備事業を行った。

【事務事業点検評価委員意見】

- 公民館活動は、生涯学習の中核として大きな役割を担っている。公民館は、地域住民の憩いの場であり、身近な交流・学習の場である。住民が利用しやすいよう施設の整備・充実を図っていただきたい。
- 中央公民館（保内別館含む）の利用者は多く、有効に活用されていると思う。今後も、住民のニーズに応える活動の場を提供していただきたい。

【自己評価】

- 公民館は地域住民の生涯学習の拠点施設であるとともに、災害時における避難施設として位置づけされており、その機能、充実のため限られた予算の中で優先順位を付け計画的、効率的に整備していきたい。
- 中央公民館、保内別館で開催している生涯学習教室では多くの方に参加していただいている。今後も利用者のニーズを把握し、より一層の学習機会の充実、発展に努めたい。また、それ以外の施設の利用者に対しても同様に、ニーズに応えられるよう活動の場を提供していきたい。